たてしなだより

令和 7 年 1 月 1 日　第 126 号

●発行者
障がいのある人達の生活の家
たてしなホーム
長野県北佐久郡立科町塩沢 333-1
TEL 0267-56-1802
FAX 0267-56-1920
E-mail bdh20aab@janis.or.jp　　http://www.janis.or.jp/users/bdh20aab/



新年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、皆様のご厚情を賜り心より御礼を申し上げます。法人役員（理事 7 名・監事 2 名）・職員・世話人（77 名）一同、障がいのある方達の福祉に最善をつくしていく所存です。本年も格別のご配慮をお願い申し上げます。

「たてしなホーム」の移転新築の移転場所について概ね所轄庁の了解をいただき、平面図案を作成しています。支援の状況は、高齢化・重度化がすすんでいます。それらに対応したリスクの高い利用者支援に柔軟に対応していきます。看護師 3 名を継続し施設医療体制の充実を図り、より細かな通院等のできる体制とします。昨年の 10 月に新型コロナ感染と 11 月にはインフルエンザ A 型の感染がありました。今後も感染防止対策を進めながら対応してまいります。たてしなホーム施設入所支援（夜間と休日の支援）29 名、生活介護（日中の支援）44 名、グループホーム（6 つの共同住宅）27 名、基準該当放課後等デイサービス事業（立科町の児童福祉法事業）7 名の方達が利用しています。

たてしなホームが障がいのある人達の生活の拠点として、総合的な福祉サービスの提供が図れるよう最善を尽くしていく所存です。これからも変わらぬご支援をお願い申し上げますとともに、皆々様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



令和 7 年 1 月 1 日

社会福祉法人しらかばの会　理事長　山浦　俊一

障がいのある人達の生活の家
たてしなホーム・しらかばハイツ

利用者・役職員一同

今年も楽しか

農　林　班

今年も農林班一泊温泉旅行に行ってきました。

初日の昼食は、利用者さんと職員の強い希望で回転寿司です。回ってくるお寿司を見て好きな物を選んだり、写真を見てタッチパネルから注文したり、食べたことのない変わり寿司に挑戦したり、お寿司だけでなくラーメンやデザートも食べました。宿に入る前に、馬事公苑を散策。気持ちを開放し、芝の上でおやつを食べたり寝転んだり、思いっきり遊具で遊んだり大笑いのひと時でした。そしてそして紅葉の綺麗なこと。温泉に入ってから宴会、日頃のがんばりや今後のお楽しみに皆で乾杯です。美味しいお料理、カラオケで盛り上がって、さらに卓球大会で盛り上がり、夜を終わらせることは残念でしたが…二日目へ。朝食を食べて元気に出発、茶臼山動物園へ行きました。動物はかわいくてたのしい時間でしたがたくさん歩きへとへとです。しゃぶしゃぶ食べ放題バイキングのお店で昼食、バスでドライブして帰園です。利用者さんも職員も皆がお互いを思いやり、皆さんの人柄と優しさの溢れた旅行で感激しました。ありがとうございました。　　大澤





カラフル班

紅葉も徐々に終わりに近づいてきた11月27日にカラフル班では利用者10名と職員9名で旅行に行って来ました。お昼は和食のお店でご当地メニューのみそカツ丼やお寿司、そば、うどんなど好きなものを召し上がられました。黙々と食べる人にこぼしながらも口いっぱいに食べる方、皆さんお腹いっぱいに食べましたね。お昼後はドライブです。

車内では眠られてる人、外を眺めている人に職員と一緒に楽しく過ごされている人で新しく出来た道の駅まであっという間に到着です。お店の利用は無かったですが、山々の紅葉を背景にして皆で写真を撮ることが出来ました。

最後にカフェによってケーキや飲み物を召し上がりました。とてもおいしくいただきました。お土産に買って帰る職員もいましたよ。天気に恵まれ楽しい一日を過ごすことが出来ました。　　井出





った♪班旅行!!

そよかぜ班

９月になっても残暑厳しい今年の秋でしたが、９月19日に計画されたそよかぜ班の班旅行はいくらか過ごしやすい陽気になりました。今年も美味しいものを食べに行こう！と予定された昼食のメニューは小諸、藤舟のうな重でした。午前中はそれぞれ小諸懐古園を散策し、動物園に行く人や、遊園地の乗り物など、それぞれにやりたいことを楽しまれていました。

そしていよいよ待ちに待った昼食です。近くの駐車場から車を降りると既にお店の周りは香ばしくて美味しい匂いに包まれていました。店内に入り、用意された鰻の柔らかさに舌鼓を打ちました。いつもはゆっくりと昼食を楽しまれる利用者さんも、いつの間にかお重の中は空っぽになっていました。







昼食後はドライブをしながらカフェに向かいそれぞれにコーヒーやケーキ、アイスなどを楽しみました。決まった行先でも、各々が自分で選んで楽しめた外出になったと思います。　　岩下

しらかば班

11月28日、コロナ流行の為１カ月延期になっていたしらかば班旅行に行ってきました。

例年より暖かい日が多かったとはいえ、秋から冬に季節が移り変わる時期、雪だけが心配の種でした。当日のたてしなホーム周辺は寒かったですが晴れ。白樺湖に向けて上っていくとまさかの雪‼「この時期の山は雪が降っていてもおかしくないよね～」という施設長の言葉に妙に納得しながらも、積もっていない事を祈るばかりでした。

無事に蓼科テディベア美術館に到着し、館内の可愛いくまちゃんに癒されるひと時でした。絵に描かれたくまと同じ物を展示されている中から探してプレゼントをもらおう！という企画があり、皆さん張り切って探していました。ちなみに私は１つも見つける事ができませんでした。（泣）

お昼は長和町のかりん亭、おやつは東御市のダーチャというお店でお腹いっぱいいただきました。今年もよく食べたしらかば班旅行でした★　　小暮







しらかば祭

たてしなホームは9月7日にしらかば祭を開催しました。今年のテーマは肝試し！過去数年のイベント会議では「普段、少し足を伸ばさなければ参加できない祭りやイベントが園で出来たらな。」など密かに検討していました。昨年はゲーム屋台を中心に開催し、賑やかな空間を作り上げることが出来ました。しかしその年の反省で「ゲームなどにそもそも参加が困難な利用者さんがいた。」という意見を多数聞き、ゲームの難易度にも考慮はしたものの課題が残る結果となりました。ならば！コースも決まっていて、職員と少人数で散歩の様に室内を廻るだけ。に注目し肝試しが案として上がりました。今回は歩行が困難な方の為にも室内は真っ暗にし過ぎず、経路は安全を考慮し広く。更に職員がおばけ役になることで一人ひとりへの驚かし方も強弱をつけることが出来、個々に楽しみ方も変えることが可能となりました。



利用者さんについては普段は見られないおばけに対して驚く表情や、「怖かったけど、楽しかった。」という感想を沢山頂きました。更に昼食の献立を普段より豪華な夏野菜カレーを計画するとこれまた大反響！「おいしかった。」の言葉を利用者さんからも職員からも頂きました。







記録よりも記憶に残り、思い返すとクスッと笑える。そんなイベントをこれからもたてしなホームの全員で開催していきたいです。　　両角

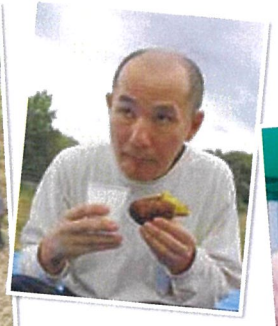
秋の作業

この度たてしなホームでは、秋の作業（収穫祭）として、施設整備のほかに焼き芋大会・かぼちゃのペインティングなどを行いました。今回の秋の作業に、協力会の方々のほかにも多くの地域の学生の方や保護者の方にもご参加いただきました。焼き芋大会では、ほくほくに焼けた焼き芋を召し上がり、多くの利用者の方から「美味しかった」との声をいただきました。かぼちゃのペインティングに関しても、多くの作品を作って頂き、その作品と一緒に良い笑顔の写真を沢山撮らせていただきました。



今回の秋の作業に多くの地域の方が参加してくださり、普段と雰囲気の違うたてしなホームが出来て利用者の方々も喜ばれる様子が多く見られました。　　田中(弥)







水嶋クリニック作品展示

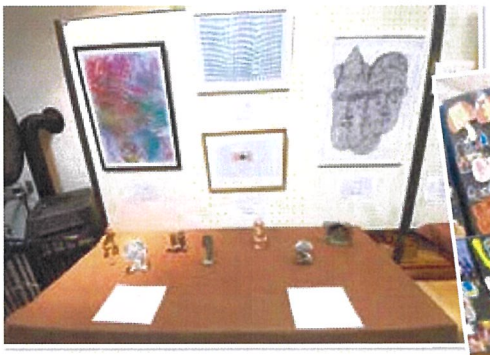
たてしなホームは利用者さんの制作活動に力を入れてきました。様々な展覧会や月に一度の外部の先生を招いての制作活動など行い、苦労の甲斐あって沢山の賞を頂いています。その中で、水嶋クリニックさんへの展示は数年前から行っています。佐久市内の施設が合同で行い、絵画や陶芸作品を院内に展示させていただきました。沢山の方に利用者さんの作品を見て頂ける機会を下さったことに、とても感謝しております。今後とも多くの皆さんのご協力をお願いします。　小池



町文化展

11月1日～3日の3日間、立科町の中央公民館にて町文化展が開催されました。たてしなホームからも文化展の為に制作された数々の力作が出品されました。そして、個人的に毎年楽しみにしているものがあります。それは班の活動などが紹介されているパネルです。班ごとにそれぞれのカラーが表れていて、とても凝っているのでみていて面白いです。利用者さんの作品にも負けず、力の入った完成度です。会場に来られるお客様からも「たてしなホームって、とっても楽しそうなところですね。」とご感想を頂いたこともあります。今年も無事に展示準備が終わり、帰り際に作品を眺めていました。そこで思った事は、『これだけ多種多様な作品が生まれるのは、職員も一緒になって本気で取り組めているからなのかな』ということです。お互いの「本気」が相乗効果となって、良い作品作りやパネル作りに繋がっていると感じる次第であります。次回はそんなところもご観覧いただければ幸いです。　小野







ありがとうございました

この度は、陶芸電気窯修理の費用として保護者会よりお心のこもった寄付金を賜りましたこと、心から御礼を申し上げます。頂戴いたしました寄付金は、窯の電熱線交換費用として大切に使用させていただきました。陶芸電気窯に使用されるヒーターの寿命は年数に関係なく、焼成の回数、温度、保持時間に左右されます。劣化すると焼成中に断線することもあり、焼成ができなくなってしまいます。今回は電熱線にだいぶ痛みが確認されましたので、断線する前に寄付金で交換させて頂きました。皆様の温かいご支援が、地域の発展と福祉向上に大きく寄与しています。今後ともたてしなホームをどうぞよろしくお願い申し上げます。ご支援に心より感謝申し上げるとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。　小野



たてしなふれ愛むら



10月26日たてしなふれ愛むらが開催されました。

今年は全天候型で室内での開催。老人福祉センターのホールでたてしなホームは販売させて頂きました。室内！風が無い！寒くない！荷物の管理も楽！ありがたい環境での販売です。

お客さんも朝からたくさん来場され、工芸班のカップを品定めしたり農林班の栄養満点の烏骨鶏のたまごを手に取ります。（烏骨鶏のたまごの事は当日の信濃毎日新聞のふれ愛むらの紹介記事にも掲載されていました！）また、しらかば班の豆菓子は今年もスタンプラリーの景品に採用して頂いたので、「さっき食べたら美味しかったから」と買っていって下さる方もいらっしゃいました。

以前でしたら利用者さんも数名販売に参加し、お客さんと直にふれあう事ができる良い機会だったのですが、感染症の流行以来、その機会も減ってしまっています。とは言え、販売を通じてたてしなホームの事を知って頂くチャンス！たてしなホームと言えば陶芸品、たまご、こ豆ちゃん！と地域の皆さんに知って頂けるように、これからも立科町の一員としてふれ愛むらに参加していきますよ～！　　大藤

地域とともに

ずくりの会

たてしなホームでは、立科町町民によるたてしな**ずく**りの会に参加させていただいております。

ずくりの会では９月21日に「地域づくり出会いのひろば」を開催いたしました。立科町で趣味や居場所の提供など様々な活動をされている団体や個人とそういった活動をしてみたい方、興味のある方をつなぐマッチングイベントでした。



１回目の開催ということもあり参加者はそれほど多くありませんでしたが、そば打ちの実演やボッチャ体験、健康体操など皆さんで楽しめる企画がたくさんありました。参加いただいた団体の皆さんは熱心にご自身の団体の説明をしているのがとても印象的でした。

たてしなホームは工芸班の作品やしらかば班の豆菓子を販売させていただき、たてしなホームを知っていただく良い機会になりました。　　真瀬垣(大)

利用者インタビュー！

今回は第６しらかばハイツにお住まいの
高橋逸郎（たかはしいつろう）さんをご紹介します。

職　　員　「逸郎さん、園だよりに逸郎さんの写真とお話をのせてもいいですか？」
逸郎さん　「いいですよーーー。」「お肉でいいですよーーー。」
職　　員　「それは班旅行のお昼ですね。」
～直前に班旅行のお昼のメニューを見ながらどれがいいか
話していたので、その内容が印象に残っていたようです。～





逸郎さんは近頃、膝が痛くなってしまったり、昼間寝てしまうことも多くなりましたが、しらかば班前の自動販売機まで歩いて飲み物を買いに行ったり、マッサージの施術を受けたり、ご自身のペースでゆったりと日々を過ごされています。気分が乗っている日はおもしろい事をたくさんお話しされ、相変わらずお茶目さは健在です！



土方優佳（ひじかたゆうか）さん

新入所者紹介

土方優佳さんは今年の春にたてしなホームを体験され、８月１日本入所となりました。入所後に 18 歳を迎えた優佳さんはたてしなホーム最年少！他の利用者さんからは「カワイイね」という声も聞かれます。

以前から音楽や和太鼓が大好きだったそうで、音楽の流れる絵本を持ち歩き、和太鼓の動画を観てはニコニコ (^-^) 椅子や浴室の洗面器を叩いて遊んでいた事も！

しっかり者の優佳さんはエプロンを洗濯へ出す事や、職員と一緒に台車を押して厨房へ下膳する事等、お仕事も頑張っています。素敵な笑顔で元気いっぱいな優佳さんを宜しくお願い致します♪　　黒澤

お悔やみ

去る令和６年９月２日、福島研一さんは治療中の入院先にてご逝去されました。
平成 14 年に入所され 22 年間をたてしなホームで過ごされました。
入所当時は、活発に行動され、買い物などの外出もされていましたね。
少しずつ行動範囲が限られてしまう中でも、周りの様子をよく見ていました。
食事も大好きなものはよく食べられていましたね。
長い年月を経て、たくさんの思い出や様々な人との関わりもあったと思います。
そして、幾度もの怪我や病気も乗り越えてきましたね。
福島さんに出会い沢山のことを学ばせてもらいました。ありがとうございました。
この度のご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、
心よりご冥福をお祈りいたします。　　井出



経過報告

7月
7日　七夕・保護者来園日（全体）
9日　鳥小屋検査（佐久家畜保健衛生所）
　　臼田学園来園施設見学
11日　肺がん検診
13日　夏の作業（ふれあいワーク）
17日　乳房検診
18日　「たてしな工房そら」実施
　　・オンブズ委員会開催
20日　陶芸クラブ
21日　グループ外出・余暇活動（動画鑑賞）
23日　ごとくの会利用者調査
25日　支援力育成チーム（来園）
27日　余暇活動（動画鑑賞）
29日　佐久ふくしネット面談

8月
1日　「たてしな工房そら」実施
2日　夏ボラ2名来園
3日　えんでこ参加
6日　夏ボラ1名来園
　　東村山市区分調査
7日　川西日赤研修医来園
8日　陶芸窯修理・軽井沢町区分調査
9日　害虫駆除・貯水槽清掃
18日　グループ外出
20日　ごとくの会訪問調査
21日　夏ボラ1名来園
22日　武蔵野市区分調査・オンブズ委員会開催
25日　陶芸クラブ
29日　支援力育成チーム（来園）
31日　蓼科高校文化祭見学

9月
4日　小諸養護学校（来園）
7日　しらかば祭・保護者来園日（全体）
8日　余暇活動（動画鑑賞）
11日　旧館ボイラー点検
15日　グループ外出・余暇活動（動画鑑賞）
18日　川西日赤研修医来園
19日　そよかぜ班旅行
21日　余暇活動（歌を歌う）
26日　支援力育成チーム（来園）
　　・「たてしな工房そら」実施
29日　余暇活動（動画鑑賞）
30日　佐久ふくしネット面談

10月
7日　立科町区分調査
7日～11月4日　水嶋クリニック作品展
9日　床暖房点検
10日　採血検査
15日　歯科検診
18日　江戸川区区分調査
19日　秋の作業・保護者来園日（個別）
20日　陶芸クラブ・グループ外出
21日　佐久ふくしネット施設見学
21日～22日　農林班旅行
26日　たてしなふれ愛むら参加
29日　ごとくの会フィードバック（ZOOM）

11月
1日～3日　町文化展出展
8日　小諸養護学校1名実習
　　・杉並区区分調査
10日　グループ外出
11日　小諸養護学校1名実習
12日　支援力育成チーム（来園）
14日　中野区区分調査
16日　陶芸クラブ
21日　虐待防止研修・インフルエンザ予防接種
　　日野市区分調査
27日　カラフル班旅行・非常用自家発電点検
28日　しらかば班旅行・「たてしな工房そら」実施
30日　理事会

感謝録

下記の皆様には、心温まる寄付金品をいただきました。厚くお礼申し上げます。
（順不同・敬称略）

吉澤歌江・長野県信用組合・厨房機器RYO・箕輪建築設計事務所・津金寺・相談支援事業所ノア・重田自動車・丸田容子・柄沢郁子・森田清子・櫻田由紀・長坂徳三・小平文也・萌芽会・奥田陞・田中タイヤ・栗原章・原洋子・河北綾子・長野メディカルフーズ・コカ・コーラ・一喜堂印刷・信州電機・小諸養護学校・島村悦子・伊佐岡忠・カラーズ・高橋光子・福島恒夫・保護者会

編集後記

あけましておめでとうございます。
かねてより懸念されてきた利用者の高齢・重度化により、支援の必要度が上がり問題が表面化してきたことを実感しています。また、相次ぐスタッフの離職によって今まで通りの活動をすることが難しくなってきましたが、支援の質を落とさないようスタッフ一同今まで以上に頑張っていきたいと思います。
本年もよろしくお願いいたします。　田中（卓）